

芸術の起源



日本最古の絵画。2万年前。千葉県の上引切遺跡出土。
石に描かれたもの。現在ミュージアムで展示中。

人が絵を描くという行為をはじめたのは、いつのころからだろう。

2万年前にあたる、日本最古の絵画が千葉県の^{かみひき}上引切遺跡で発見された。最古の絵画は、5センチほどの石の平らな面に、ノコギリの歯のような幾何学的な絵を描いたものである。これは絶滅動物のオオツノジカの角とか、人の手を表現したものだといわれている。

縄文時代以前、旧石器時代にあたる1万年以上前の絵画は、日本ではこれ1点しか発見されていない。

1万年前をすぎると、縄文人たちは、自らの心を、縄文土器をキャンバスにして自由に表現した。しかも、立体的な文様を駆使して。

御代田町川原田遺跡で発見された土器にも、縄文人のメッセージが描かれている。抽象的な文様が多く、どんなメッセージを託したかはわからない。しかし、その優れた芸術性は、御代田に生きた縄文人たちが、ピカソにも劣らない表現者であったことを証明している。



御代田町川原田遺跡の土器
縄文人は、その文様にどんなメッセージを託したか

企画展 日本人の起源をさぐる

■好評開催中！9月10日(日)まで ■浅間縄文ミュージアム 常設・企画展示室

御代田町の人口(6月1日現在)

●人口 14,154人(先月比-29) 男7,094人 女7,060人
●世帯数 5,429世帯(先月比-15) ●外国人登録者数 794人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111